



▲商工会議所青年部の高木陽介さん（右）から絵本を受け取る谷島市長（中央）と児島教育長（左）

商工会議所青年部から

絵本「おかねってなあに？」が寄贈

渋沢栄一の子孫である澁澤健氏監修のもと、日本商工会議所青年部が制作した絵本「おかねってなあに？」が、石岡商工会議所青年部から市に寄贈されました。絵本を受け取った谷島市長は「子どもたちにお金について考えるきっかけをいただきありがたい」と話しました。

寄贈された絵本は、市内小学校のほか、中央図書館やこども図書館、公民館図書室に配架されています。

子どもたちの創造力を育てる

石岡少年少女発明クラブ 発会式で万華鏡づくりに挑戦

5月15日、旧城南中学校で令和3年度(第34期)石岡少年少女発明クラブの発会式が行われました。

昨年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で、活動ができませんでした。今年度は感染症対策を万全にして、市内小学校3～6年生の児童23人でスタート。当日は親子で2種類の万華鏡づくりに挑戦しました。参加した児童は「難しいところもあったけど、楽しかった。次回からも楽しみ」と笑顔で話してくれました。



▲真剣なまなざしで取り組む子どもたち。参加者の中から未来の発明家が誕生するかもしれません。



▲石岡市の玄関口である観光案内所の前で、本市を訪れた観光客の皆さんをお迎えしています。

歴史文化伝承館で

石岡のおまつりをPRするための山車を展示

現在、石岡駅西口の歴史文化伝承館に、石岡のおまつりをPRするために製作された山車が展示されています。

舞台の上には本番さながらに踊るひょっとこの人形もディスプレイされ、石岡のおまつりを感じられるようになっています。

近くにお越しの際には、皆さんも石岡市の文化を感じてみてはいかがでしょうか。



▲本運動に関する総理大臣からのメッセージを手渡す石岡地区保護司会の菊地善衛会長（右）

7月は強調月間

犯罪のない明るい社会を目指す「社会を明るくする運動」

この運動は、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生への理解を深め、犯罪のない明るい社会を目指すものです。更生保護ボランティアを主体に市内の教育・青少年に関する各団体が共に手を携え、更生保護のネットワークを広げ取り組んでいます。

5月19日、市役所本庁舎で、内閣総理大臣からのメッセージが谷島市長に手渡されました。

立ち直りを支えるのは地域の力。皆様のご理解とご協力をお願いします。

茨城県近代美術館の企画展で

石岡市ゆかりの画家 小林栄居人氏の作品が展示

小林栄居人氏は、戦後、石岡市高浜に移り住み、自然に目を向けた作品を描き続けました。

本企画展「日本画の150年 - 明治から現代へ - (4.17 ~ 6.20)」では、氏の見ごたえのある作品が複数展示されました。

担当した学芸員の今瀬さんは「日本画というと古臭いイメージを持たれるかもしれませんが、いつの時代の画家達も伝統を重んじながら新しい表現を目指しました」と日本画の魅力を話してくれました。



▲霞ヶ浦とそこに生きる動植物を描いた「水辺絵巻」の一部。この作品は、全長17メートルにも及ぶ絵巻形式の作品です。



▲飲食スペースを設けないなど、新型コロナウイルス感染症対策が取られるなか、多くの来場者がイベントを楽しみました。

石岡駅周辺に賑わいを

石岡ステーションパークで 「いしおか市場」を開催

石岡駅を中心に、駅周辺の活性化や観光・商業の発展を目指したイベント「いしおか市場」が、6月6日、御幸通り商店街振興組合（川村理事長）の主催で開催され、多くの家族連れで賑わいました。

川村理事長は「出展者と来場者みなでこのイベントを盛り上げていきましょう」と話しました。

いしおか市場は、駅周辺の賑わいを創出するため、今後も隔月（偶数月の第1日曜日）での開催を予定。今回は8月1日（日）午後3時～8時の予定です。